岐阜聖徳学園大学（短期大学部を含む）全体のＦＤ方針、ＦＤ目標及び評価指標について

大学全体のＦＤ方針

・大学全体での組織的な取組を通して、教育・研究・諸活動における能力の向上を図る。

・研修等の取組を通して、教育課程の理解を深めるとともに授業の内容及び方法の改善を行う。

大学全体のＦＤ目標

岐阜聖徳学園大学におけるＦＤ活動の目標は次のとおりとする。

１．教員の教育研究活動の評価を行う。

２．教員の質的向上を図るため大学全体で組織的な取り組みを行い、大学全体での教員の資質向上を図るためのＦＤ活動を推進する。

３．大学全体における教員の資質向上を図るためのＦＤ活動について点検・評価を実施する。

４．各学部教員に対してＦＤ目標の周知を行う。

５．授業の内容改善を図るため、研修会を定期的に開催し、その成果を教職員に周知して、実際の授業改善に結びつける。

評価指標

１．教員評価実施の有無、教員評価制度の検証の有無、教員評価を資質向上に結びつける取組みの実施

評定　　すべて実施：Ｓ　２項目実施：Ａ　１項目実施：Ｂ　未実施：Ｃ

２．ＦＤ研修会への参加者数（目標値：７割以上の教員出席）

評定　９割以上：Ｓ　７割以上９割未満：Ａ　５割以上７割未満：Ｂ　５割未満：Ｃ

３．ＦＤ研修会の効果

評定　アンケート項目　１．今後の研究活動に役立つか？における回答

「非常に役に立った・やや役に立った」の割合

９割以上：Ｓ　７割以上９未満：Ａ　５以上７未満：Ｂ　　５未満：Ｃ

４．ＦＤ目標の周知

評定　実施：Ｓ　未実施：Ｃ

５．①授業の内容及び改善を図るための研修会（ＦＤサロン）への参加者数（目標値：７割以上の教員出席）

評定　９割以上の出席：Ｓ　７割程度の出席：Ａ　６割程度の出席：Ｂ

５割未満の出席：Ｃ

②ＦＤサロンの効果

評定　アンケート項目１．授業改善を行う上で参考になりましたか？における回答

「非常に参考になった・やや参考になった」の割合

９割以上：Ｓ　７割以上９未満：Ａ　６割以上７割未満：Ｂ　５割未満：Ｃ

各研究科・各学部におけるＦＤ活動の目標及び評価指標について

（１）国際文化研究科

国際文化研究科におけるＦＤ活動の目標は次のとおりとする。

１．教員の組織改善のためのＦＤ活動を行う。また、教員の資質（研究能力）向上のためのＦＤ活動を行う。

２．授業内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究を実施する。

評価指標

１．①教員の組織改善のためのＦＤ活動実施の有無

評定　実施：　Ｓ　　未実施：Ｃ

②教員の資質向上のためのＦＤ活動実施の有無

評定　実施；　Ｓ　　未実施Ｃ

③ＦＤ活動研修会への参加率

評定　参加率 80％以上：Ｓ　70%-79%：Ａ　60%-69%：Ｂ　60%未満：Ｃ

２．①学部との合同開催の授業の内容及び改善を図るための研修会への参加者数

（目標値：７割以上の教員出席）

評定　９割以上の出席：Ｓ　７割程度の出席：Ａ

６割程度の出席：Ｂ　５割未満の出席：Ｃ

②ＦＤサロンの効果

アンケート項目１．授業改善を行う上で参考になりましたか？における回答

「非常に参考になった。やや参考になった」の割合

評定　９割以上：　Ｓ　９～７割：Ａ　７～６割：Ｂ　５割未満：Ｃ

（２）経済情報研究科

経済情報研究科におけるＦＤ活動の目標は次のとおりとする。

１．教員の大学院生指導力量を高めるためのＦＤ活動

前年度の経験から、学問の基本であるオリジナルとは何かを問いながら、分野を超えて議論をすることは意義深い。引き続き同様の議論をする機会を作る。

参加者からアンケートを採り、今後に活かす。

２．教員の研究力量を高めるためのＦＤ活動

各分野での最新の話題を含めた講演会の開催し、教員の研究の裾野を広げる。

評価指標

１．検討会開催

評定　実施し参加率 80%超：Ｓ　実施し参加率 60%超：Ａ

実施し参加率 40%超：Ｂ　未実施　：Ｃ

２．講演会開催

評定　講演会開催回数　３回以上：Ｓ　講演会開催回数　２回：Ａ

講演会開催回数　１回：Ｂ　講演会開催せず　：Ｃ

（３）教育学部

教育学部におけるＦＤ活動の目標は次のとおりとする。

１．教員養成課程に関する共通理解を深め，学生指導に関する資質・能力の向上の意識を高める。

２．授業内容及び方法に関する組織的研修・研究を実施し，改善への意識を高める。

評価指標

１．①教員間の意見交換の場を設け、その実施記録を教職員に周知する。

②前年度に意見交換の場で出された意見および前年度アンケート結果を反映した研修会を実施する。

③教員養成課程に関する共通理解または学生指導に関する資質・能力向上の意識について研修会後にアンケート調査を実施する。

④年度末に教育学部ＦＤ活動に関する振り返りのアンケート調査を実施する。

評定　すべて実施：Ｓ　３項目実施：Ａ　１～２項目実施：Ｂ　未実施：Ｃ

２．①前年度のアンケート結果を反映した研修会を実施する。

②研修会を受けての授業改善への意識について研修会後にアンケート調査を実施する。

③年度末に教育学部ＦＤ活動に関する振り返りのアンケート調査を実施する。

評定　すべて実施：Ｓ　２項目実施：Ａ　１項目実施：Ｂ　未実施：Ｃ

（４）外国語学部

外国語学部におけるＦＤ活動の目標は次のとおりとする。

１．学生指導に関する資質・能力の向上の意識を高め、より充実した授業構築を目指す。

２．教員の資質向上の意識を高めるため組織的研修・研究を実施する。

評価指標

１．①教員間での意見交換をして、それをできる限り共有する。

②公開授業の期間を工夫しより多くの教員が参加する機会を設け、資質・能力向上の機会を得る。

③All English 授業、TOEIC 授業などの効果的教授法の工夫をする。

評定　すべて実施：Ｓ　２項目実施：Ａ　１項目実施：Ｂ　未実施：Ｃ

２．①前年度アンケート結果を反映して研修会を実施する。

②多文化アイデンティティに関する講演をより充実させるとともに、研修後のアンケート調査を実施する。

評定　すべて実施：Ｓ　１項目実施：Ａ　未実施：Ｃ

（５）経済情報学部

経済情報学部におけるＦＤ 活動の目標は次のとおりとする。

１．「大学の理念・目的」及び「中・長期計画」に沿ったＦＤ活動の組織的な実施

評価指標

評定　Ｓ：適切に実行している　　Ａ：概ね実行している

Ｂ：あまり実行していない　　Ｃ：実行していない

（６）看護学部

看護学部におけるＦＤ活動の目標は次のとおりとする。

１．年度始めの活動目標、年度終わりの活動記録に沿って評価し、次年度への課題を提出する。

２．教育・研究における資質・能力の向上を図るために、ＦＤ研修会を実施し、学部ＦＤ研修会の毎回の平均参加率を設定し、その効果を検討する。

３．学生の授業評価、および教員間相互の授業参加を実施する。

評価指標

１．提出率

評定　全教員の９割以上実施：Ｓ　　７割～９割実施：Ａ

６割～７割実施：Ｂ　　６割未満：Ｃ

２．①学部ＦＤ活動への平均参加率

評定　７割以上の出席：Ｓ　　６割程度の出席：Ａ

５割程度の出席：Ｂ　　５割未満の出席：Ｃ

②ＦＤ研修会の実施とアンケート結果を踏まえた検討の有無

評定　実施：Ｓ　　未実施：Ｃ

③アンケート項目「１．本日の研修は有意義でしたか」の回答　「大変有意義だった・やや有意義だった」の割合

評定　９割以上：Ｓ　　７割以上９割未満：Ａ

５割以上７割未満：Ｂ　　５割未満　　：Ｃ

３．実施の有無

評定　実施　：Ｓ　　未実施：Ｃ